

HP ComputeSensor

ソフトウェアバージョン: 2.20

Windows® およびLinuxオペレーティングシステム

ユーザーガイド

ドキュメントリリース日: 2015年6月
ソフトウェアリリース日: 2015年6月



ご注意

保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2013-2015 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe® はAdobe Systems Incorporatedの商標です。

Microsoft® およびWindows® はMicrosoft Corporationの米国登録商標です。

Unix® はThe Open Groupの登録商標です。

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。 <http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの登録は、次のWebサイトから行うことができます。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

または、HP Passportのログインページの **[New users - please register]** リンクをクリックします。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細については、HPの営業担当にお問い合わせください。

サポート

HPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。 <http://support.openview.hp.com>

このサイトでは、HPのお客様窓口のほか、HPソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧ください。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様の業務の管理に必要な対話型の技術支援ツールに素早く効率的にアクセスいただけます。HPソフトウェアサポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のある技術情報の検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDを登録するには、以下のWebサイトにアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

http://support.openview.hp.com/access_level.jsp

HP Software Solutions Now は、HPSWのソリューションと統合に関するポータルWebサイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP製品間の統合に関する詳細なリストやITILプロセスのリストを閲覧することができます。このWebサイトのURLは、<http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp>です。

目次

第1章: はじめに	5
第2章: インストールシナリオ	6
HP vPVマシンからのHP ComputeSensorのリモートインストール	6
仮想マシンでのHP ComputeSensorのスタンドアロンインストール	8
第3章: HP ComputeSensorのインストール	10
WindowsノードでのHP ComputeSensorのインストール	10
LinuxノードまたはLinux-DebianノードでのHP ComputeSensorのインストール	12
インストールの確認	13
第4章: HP ComputeSensorの設定	15
ハイパーテキスト転送プロトコルによるセキュリティ保護された通信の設定	17
ハートビートポーリングの設定	18
第5章: HP ComputeSensorの削除	19
WindowsノードからのHP ComputeSensorの削除	19
LinuxノードまたはLinux-DebianノードからのHP ComputeSensorの削除	19
HP vPVマシンからのHP ComputeSensorの削除	20
第6章: HP ComputeSensorのトラブルシューティング	21
ドキュメントに関するフィードバックの送信	23

第1章: はじめに

HP ComputeSensorは、軽量なパフォーマンスおよびヘルスに関する情報の収集ツールで、仮想マシン (VM) で利用可能な実行中のワークロードおよびアプリケーションの概要をすばやく表示できます。HP ComputeSensorは、インストールされているシステムを監視し、システムのヘルスおよびパフォーマンスを示すメトリクスを収集することによりリソースのボトルネックをトラブルシューティングするために役立ちます。このツールはVMにデプロイされ、リソース使用率に関する概要をすばやく表示するために必要不可欠な情報を収集します。

このツールにより、次の情報を入手できます。

- CPU、ファイルシステム、ディスク、ネットワーク使用率などのシステムリソースの使用傾向に関する概要。
- システムの一般的なヘルスおよびあらゆるボトルネックの原因に関する概要。
- 使用中のプロセスおよびリソースの一覧。さらにドリルダウンして、多くのメモリやCPUを消費しているプロセスを確認することで、メモリまたはCPU使用率が制限を超えているプロセスを検出できます。
- システムイベントのリスト。

Windows ノードでComputeSensorをインストールするには、[「Windows ノードでのHP ComputeSensorのインストール」](#)を参照してください。

UNIX ノードでComputeSensorをインストールするには、[「Linux ノードまたはLinux-Debian ノードでのHP ComputeSensorのインストール」](#)を参照してください。

注:HP Compute Sensorのバージョンは、HP Virtualization Performance Viewer (HP vPV) のバージョンとは異なります。

第2章: インストールシナリオ

HP ComputeSensorは、次の2とおりの方法でインストールすることができます。

- **HP Virtualization Performance Viewer (HP vPV) マシンからのHP ComputeSensorのリモートインストール**

HP ComputeSensor (リアルタイムゲストOSドリルダウン) パッケージは、HP vPVマシンで使用できます。hpcsinstallユーティリティを使用して、vPVマシンからVMにパッケージをリモートでインストールすることができます。リモートインストールの詳細については、「[HP vPVマシンからのHP ComputeSensorのリモートインストール](#)」(6ページ)を参照してください。

- **仮想マシンでのHP ComputeSensorのスタンドアロンインストール**

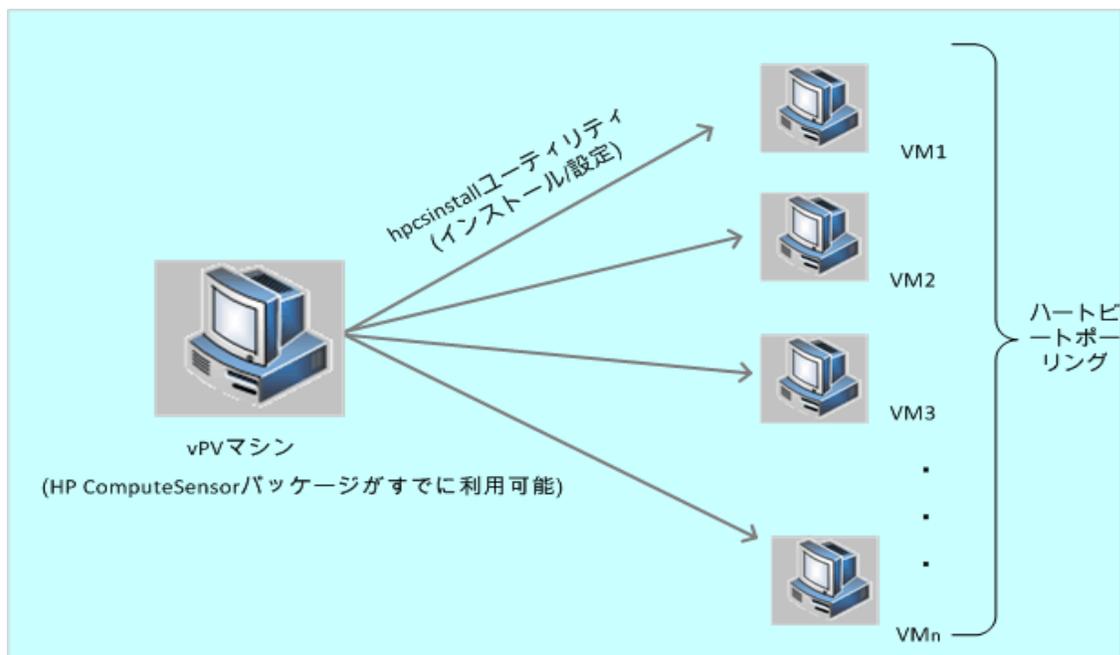
スタンドアロンインストールでは、HP vPVマシン (HP vPVコンソールに移動して、[設定]>[統合]を選択) からVMにパッケージが転送されたことを確認します。スタンドアロンインストールの詳細については、「[仮想マシンでのHP ComputeSensorのスタンドアロンインストール](#)」(8ページ)を参照してください。

HP vPVマシンからのHP ComputeSensorのリモートインストール

HP vPVを仮想アプライアンスとして使用することで、vCenterで簡単にデプロイできます。VMware vSphere Clientユーザーインターフェイスを使用して、仮想アプライアンスをデプロイできます。

マシンにHP vPVをインストールすると、すでにHP ComputeSensorパッケージを使用できるようになっています。

次の図に、HP ComputeSensorパッケージがvPVマシンにインストール済みの環境を示します。



レジストリ機能の使用

HP vPV マシンで実行されているHP ComputeSensorは、環境内のVMで使用可能なその他のHP ComputeSensorの詳細を含むレジストリとして機能します。環境内の各仮想マシンで、ハートビートポーリング (HBP) を有効にする必要があります。HBPが有効になっている場合、VMはレジストリの内容をレジストリとして機能するターゲットのHP ComputeSensorにプッシュします。

HBPを有効にするには、hpcs.confファイルのhpcs.hbp名前空間に記載されている値を更新します。値の設定方法の詳細については、「[ハートビートポーリングの設定](#)」(18ページ)を参照してください

hpcsinstallユーティリティの使用

hpcsinstallユーティリティを使用すると、環境内のVMにHP ComputeSensorをリモートでインストールすることができます。

前提条件：

- HP vPVをインストールする必要があります。
- SSHデーモンをWindowsノードおよびLinuxノードの両方で実行する必要があります。
sshhdがリモートホストで実行されているかどうかを確認するには、次の手順を実行します。
 - a. rootユーザーとしてログオンします。
 - b. 次のコマンドを実行します。

```
nmap -p22 <remote_host_name>
```

このコマンドで22/tcp open sshという出力が返された場合は、sshhdが実行されています。

注: HP ComputeSensorでは、hpcsinstallユーティリティを使用して、次のインストールをサポート

トしています。

Linuxノードの場合 :rpmまたは.debインストール

Windowsノードの場合 :.zipインストール

次のコマンドを使用すると、VM上にHP ComputeSensorをインストールして設定したり、または削除したりできます。

vPVマシンからのHP ComputeSensorのインストール手順:

1. 管理者権限でvPVノードにログオンします。
2. 次の場所に移動します。/opt/OV/hpcs/bootstrap
3. 次のコマンドを実行します。./hpcsinstall -install -node <ノードのIPアドレス> -user <ユーザー名> -pw <パスワード>

vPVマシンからHP ComputeSensorを削除する手順:

1. 管理者権限でノードにログオンします。
2. 次の場所に移動します。/opt/OV/hpcs/bootstrap
3. 次のコマンドを実行します。./hpcsinstall -remove -node <ノードのIPアドレス> -user <ユーザー名> -pw <パスワード>

注 :hpcsinstallコマンドの-pwパラメーターに誤ったパスワードを入力した場合は、同じコマンドに正しいパスワードを指定して、再度実行してください。

仮想マシンでのHP ComputeSensorのスタンドアロンインストール

HP ComputeSensorパッケージをインストールすると、HP ComputeSensorを有効にして、システムパフォーマンスデータ、イベント、およびログを収集することができます。

環境内の各VMで、HP ComputeSensorを手動でインストールして設定する必要があります。

スタンドアロンVMにHP ComputeSensorをインストールする手順:

1. 管理者権限でHP vPVにログオンします。
2. HP vPVコンソールで、**[設定]** > **[統合]**に移動して、HP ComputeSensorパッケージをダウンロードします。
3. HP vPVマシンからVMにHP ComputeSensorパッケージをコピーします。
4. HP ComputeSensorをインストールします。インストールの詳細については、[「HP ComputeSensorのインストール」\(10ページ\)](#)を参照してください。
5. HBPを設定します。HBP値の設定方法の詳細については、[「ハートビートポーリングの設定」\(18ページ\)](#)を参照してください

注 :HP vPVコンソール (**設定** > **統合** に移動) から、HP ComputeSensorパッケージをダウンロードできます。

第3章: HP ComputeSensorのインストール

ComputeSensorメディアで利用可能なインストーラープログラムを使用するとノードにこの製品をインストールすることができます。次にHP ComputeSensorをインストールできます。

- [WindowsノードでのHP ComputeSensorのインストール](#)
- [LinuxノードまたはLinux-DebianノードでのHP ComputeSensorのインストール](#)

WindowsノードでのHP ComputeSensorのインストール

注 :HP ComputeSensorは、Microsoft Windows 7 SP1、64ビットオペレーティングシステムおよびMicrosoft Windows Server 2008 R2、64ビットオペレーティングシステムにインストールできません。

次のいずれかのタスクを実行できます。

- [グラフィカルユーザーインターフェイスの使用](#)
- [サイレントインストールの使用](#)
- [.Zipの使用](#)

グラフィカルユーザーインターフェイスの使用

次の手順を実行します。

1. 管理者権限でノードにログオンします。
2. ダウンロードしたComputeSensorパッケージを使用できる場所に移動します。
3. **HPComputeSensor-02.01.004-Win5.2_64-release**をダブルクリックしてインストーラーを起動します。
HP ComputeSensorのインストーラーが表示されます。
4. インストールプログラムのHP ComputeSensorのインストーラーで、**[次へ]**をクリックします。
ライセンス契約のページが表示されます。
5. ライセンス使用許諾の諸条項を確認し、**[ライセンス使用許諾に同意します]** オプションを選択して、**[次へ]**をクリックします。
インストール先フォルダーのページにインストールディレクトリのオプションが表示されま
す。

6. この製品をインストールするデフォルトの場所を選択するか、必要に応じて場所を変更し、[次へ]をクリックします。

[プログラムのインストールの準備完了] ページが表示されます。

7. [インストール] をクリックして、HP ComputeSensor インストーラープログラムを起動します。インストーラープログラムが、インストールチェックの実行から開始します。
8. インストールが完了すると、インストールウィザードでは[インストーラー終了] ダイアログボックスが表示されます。[終了] をクリックして、インストールを終了します。

インストールが完了すると、**HP ComputeSensor Service**が自動的に起動します。

注: システムを再起動すると、**HP ComputeSensor Service**が自動的に起動します。

サイレントインストールの使用

次の手順を実行します。

1. 管理者権限でノードにログオンします。
2. メディアからComputeSensorパッケージをダウンロードします。
3. Windows コマンドプロンプトを開き、**HPComputeSensor-02.01.004-Win5.2_64-release**ファイルが格納されているドライブ名を入力します。
4. 次のコマンドを実行して、インストーラーを起動します。

```
msiexec /i HPComputeSensor-02.01.004-Win5.2_64-release /qn
```

このコマンドを実行すると、インストール手順が開始されます。インストールが正常に開始されたことを示すメッセージは表示されません。

インストールが完了すると、**HP ComputeSensor Service**が自動的に起動します。

注: システムを再起動すると、**HP ComputeSensor Service**が自動的に起動します。

.Zipの使用

次の手順を実行します。

1. 管理者権限でノードにログオンします。
2. .Zipファイルのコンテンツをローカルディレクトリに抽出します。
3. 次のコマンドを実行して、UUIDを生成します。

```
hpcomputesensor -genUUID
```

4. HBPを設定します。HBP値の設定方法の詳細については、[「ハートビートポーリングの設定」\(18 ページ\)](#)を参照してください
5. **hpcomputesensor.exe**をダブルクリックします。次のメッセージが表示されます。

```
Started successfully.Type the URI to connect --> http://localhost:381
```

6. HP ComputeSensorをサービスとして起動するには、次の手順を実行します。
 - a. Windows コマンドプロンプトを開き、インストールディレクトリに移動します。
 - b. 次のコマンドを実行します。

HP ComputeSensorサービスとして登録する場合:

```
hpcomputesensor.exe -rs
```

サービスを起動する場合:

```
hpcomputesensor.exe -srs
```

注: .Zipインストールの場合のみ、HP ComputeSensorを起動する必要があります。

7. HP ComputeSensorサービスを停止するには、次の手順を実行します。

a. Windowsコマンドプロンプトを開き、インストールディレクトリに移動します。

b. 次のコマンドを実行します。

サービスを停止する場合:

```
net stop HP Compute Sensor Service
```

登録を解除する場合:

```
hpcomputesensor.exe -drs
```

プロセスとして起動した場合:

コマンドプロンプトでCtrl + cキーを押すか、hpcomputesensor.exeを実行しているコマンドウィンドウを閉じます。

LinuxノードまたはLinux-Debianノードでの HP ComputeSensorのインストール

注: HP ComputeSensorは、Linux (RHEL、SuSE、Ubuntu)、64ビットオペレーティングシステムにインストールできます。

次のいずれかのタスクを実行できます。

- [コマンド行の使用](#)
- [.tarまたは.gzの使用](#)

コマンド行の使用

次の手順を実行します。

1. rootユーザーとしてログオンします。
2. ダウンロードしたHP ComputeSensorパッケージを使用できる場所に移動します。
3. ノードに応じて、次のコマンドを実行し、インストーラーを起動します。

Linuxノードの場合:

```
rpm -ivh HPComputeSensor-02.01.004-Linux2.6_64-release.rpm
```

注: rpmのインストール時には、警告メッセージが表示されます。次のメッセージは無視し

てください。

```
warning:HPComputeSensor-02.01.004-Linux2.6_64-release.rpm:Header V3 DSA/SHA1  
Signature, key ID 2689b887:NOKEY
```

Linux-Debianノードの場合 :

```
dpkg -i HPComputeSensor-02.01.004-Linux_Debian5-release.deb
```

このコマンドを実行すると、インストーラーが、インストールチェックを実行してから、HP ComputeSensorをインストールします。

注: システムを再起動すると、**HP ComputeSensor Service**が自動的に起動します。

.tarまたは.gzの使用

次の手順を実行します。

1. rootユーザーとしてログオンします。
2. .tarまたは.gzファイルのコンテンツをローカルディレクトリに抽出します。
3. 次のコマンドを実行して、UUIDを生成します。

```
hpcomputesensor -genUUID
```
4. HBPを設定します。HBP値の設定方法の詳細については、[「ハートビートポーリングの設定」\(18ページ\)](#)を参照してください
5. HP ComputeSensorを明示的に停止するには、次の手順を実行します。
 - a. ノードにログオンして、インストールディレクトリに移動します。
 - b. 次のコマンドを実行します。
デーモンとして実行する場合：

```
./hpcomputesensor -srs
```


プロセスとして実行する場合：

```
./hpcomputesensor
```
6. HP ComputeSensor Serviceを停止するには、次の手順を実行します。
 - a. インストールディレクトリに移動します。
 - b. 次のコマンドを実行します。
実行されているプロセスのpidを検索する場合：

```
ps -ef | grep hpcomputesensor
```


次のコマンドでpidの値を入力します。

```
kill -15 <hpcomputesensor-pid>
```

インストールの確認

HP ComputeSensorが正常にインストールされたことを確認するには、次を確認します。

1. 次のディレクトリに移動します。

Windowsノードの場合 :%HPCSInstallDir%

LinuxまたはLinux-Debianノードの場合 :/opt/OV/hpcs

2. **hpcstrace.log**ファイルを確認します。次のメッセージが表示されます。

Started successfully.Type the URI to connect --> http://localhost:381

注: Windowsノードの場合 :**Services.msc**の下にHP Compute Sensor Serviceという名前の新しいエントリが一覧表示されます。

第4章: HP ComputeSensorの設定

HP ComputeSensorをインストールすると、ノードで次の追加の設定タスクを実行することができます。

- ポート番号の設定
- 収集レベルの設定
- スレッド数の設定
- 接続バックログの設定
- デバッグレベルの設定
- ターゲットの設定
- ハートビートポーリング間隔の設定

ポート番号、収集レベルおよびデバッグレベルを設定するには、次の手順を実行します。

1. 管理者権限でノードにログオンします。
2. 次のディレクトリに移動します。
 - Windowsノードの場合 :%HPCSInstallDir%
 - LinuxまたはLinux Debianノードの場合 :/opt/OV/hpcs
3. **hpcs.conf**ファイルを開き、`hpcs.runtime`名前空間で次の値を編集します。

- **ポート番号の設定**

デフォルトのポート番号 (**port=<値>**) を変更します。デフォルトでは、HP ComputeSensorノードは通信にポート381を使用します。

ここで、<値>はHP ComputeSensorが使用するポートの番号です。

注: `HPComputeSensor-02.01.004-Win5.2_64-release`を使用しており、ポート番号を変更した場合は、`hpcomputesensor`を再起動する必要があります。

- **収集レベルの設定**

デフォルトの収集間隔 (**collection_interval=<値>**) を変更します。デフォルトでは、収集間隔は1秒に設定されています。

ここで、<値>は秒単位の収集間隔です。

注: HP vPVマシンでは、HP ComputeSensorのデフォルトの収集間隔は5秒です。

- **スレッド数の設定**

デフォルトのスレッド数 `num_threads=<値>` を変更します。デフォルトでは、スレッド数は5に設定されています。

ここで、`<値>`はクライアントからの受信要求を処理するために割り当てられるワーカースレッドの数です。クライアントからの受信要求数が多い場合はこの値を引き上げます。

• 接続バックログの設定

デフォルトの接続バックログ (`collection_interval=<値>`) を変更します。デフォルトでは、接続バックログは、Windowsでは16384、Linuxでは128に設定されています。

ここで、`<値>`はWebサーバーのバックログソケットキューの長さです。最大限の拡張性を得るためには、4096などの高い値を設定してください。

4. `hpcs.conf`ファイルを開き、`hpcs.trace`名前空間でデフォルトのデバッグレベルを編集します。

• デバッグレベルの設定

デフォルトのデバッグレベル (`collection_interval=<値>`) を変更します。デフォルトでは、デバッグレベルはINFOに設定されています。

ここで、`<値>`は、デバッグ情報およびエラー情報を取得するために使用するデバッグレベルです。INFO, WARN, ERROR, DEBUG, ALLをデバッグレベルの値として使用することもできます。

5. `hpcs.conf`ファイルを開き、`hpcs.hbp`名前空間でデフォルトのターゲット値および間隔の値を編集します。

• ターゲットの設定

レジストリとして機能するターゲットのHP ComputeSensorにHBPイベントをプッシュするには、次のコマンドを実行します。

```
http://<ターゲットシステムのIPアドレス>:<ターゲットHPCSポート>/hbphandler=/lwiregistry/up
```

ここで、`<ターゲットシステムのIPアドレス>`は、HP ComputeSensorのレジストリが実行されているターゲットシステムのIPアドレスです。

• ハートビートポーリング間隔の設定

デフォルトの秒単位の間隔 (`interval=<値>`) を変更します。デフォルトでは、間隔は90に設定されています。

ここで、`<値>`は秒単位のHBP間隔です。

6. HP ComputeSensorを再起動します。

ハイパーテキスト転送プロトコルによる セキュリティ保護された通信の設定

HP ComputeSensorでは、単一のファイルに.PEM形式で格納されている証明書および秘密鍵が必要です。このファイルは、vPVノードとVMにインストールされているHP ComputeSensor間でのSSLハンドシェイク時のセキュリティ保護された通信で使用されます。hpcs.confファイルを更新することにより、HP ComputeSensorをハイパーテキスト転送プロトコル (HTTPS) 通信に対応するように設定できます。

hpcs.confファイルのSSL証明書を更新するには、次の手順を実行します。

1. 管理者権限でノードにログオンします。
2. 次のディレクトリに移動します。
 - **Windowsノードの場合** :%HPCSInstallDir%
 - **LinuxまたはLinux Debianノードの場合** :/opt/OV/hpcs
3. PEM証明書がすでに存在する場合は、この手順は省略して、[手順4](#)に進みます。その他の場合は、PEM証明書を作成します。

PEM証明書を作成するには、次の手順を実行します。

- a. 次のディレクトリに移動します。
 - **Windowsノードの場合** :C:\Program Files\HP\HP BTO Software\hpcs\ssl
 - **LinuxまたはLinux Debianノードの場合** :/opt/OV/hpcs/ssl
- b. pemgen.shまたはpemgen.batファイルを実行して、PEM証明書を作成する手順を実行します。

注 :PEM証明書はデフォルトの場所に作成されます。PEM証明書がすでに存在する場合は、環境内の定義済みの場所にある証明書を確認してください。

4. **hpcs.conf**ファイルを開き、`hpcs.runtime`名前空間で次の値を編集します。
デフォルトのSSL証明書 (`ssl_certificate=<値>`) を変更します。この値をHTTPSに対応できるように設定します。このパラメーターにはデフォルト値はありません。

例:

LinuxまたはLinux Debianノードの場合:

```
ssl_certificate=/opt/OV/hpcs/ssl/nodcert.pem
```

Windowsの場合:

```
ssl_certificate=C:\Program Files\HP\HP BTO Software\hpcs\ssl\nodcert.pem
```

ここで、<値>はこのシステムの秘密鍵および証明書をPEM形式で格納しているファイルへのパスです。

注:

- この証明書が設定されると、HP ComputeSensorはHTTPS接続のみを受け入れるようになります。この証明書がHP vPVで設定されている場合は、HBPのURLを適宜設定する必要があります。
- HP ComputeSensorでは、HTTPS接続が設定されている場合でも、localhostに対してはHTTP接続を受け入れます。
- HP ComputeSensorがHP vPV上でセキュリティ保護された通信 (HTTPS) 向けに設定されている場合は、すべてのVMで同じ設定が有効になります。デフォルトでは、VMはHTTPモードが有効になっています。

5. HP ComputeSensorを再起動します。

ハートビートポーリングの設定

hpcs.confファイルでHBPを更新するには、次の手順を実行します。

1. 管理者権限でノードにログオンします。
2. 次のディレクトリに移動します。
 - **Windowsノードの場合** :%HPCSInstallDir%
 - **LinuxまたはLinux Debianノードの場合** :/opt/OV/hpcs
3. **hpcs.conf**ファイルを開き、`hpcs.hbp`名前空間で次の値を編集します。

- ターゲットの設定

次のコマンドは、レジストリとして機能するターゲットのHP ComputeSensorにHBPイベントを送信します。

```
http://<ターゲットシステムのIPアドレス>:<ターゲットHPCSポート>/hbphandler=/lwiregistry/up
```

ここで、<ターゲットシステムのIPアドレス>は、HP ComputeSensorのレジストリが実行されているターゲットシステムのIPアドレスです。

- **(任意)** デフォルトの秒単位の間隔 (**interval=<値>**) を変更します。デフォルトでは、間隔は90に設定されています。

ここで、<値>は秒単位のハートビートポーリング間隔です。

注:ファイアウォールが設定されている場合、HBPが機能するように、HP vPVシステムでHP ComputeSensorポートへの受信接続を有効にする必要があります。

4. HP ComputeSensorを再起動します。

第5章: HP ComputeSensorの削除

WindowsノードおよびLinuxノードまたはLinux-DebianノードからHP ComputeSensorを削除できます。

WindowsノードからのHP ComputeSensorの削除

次のいずれかのタスクを実行できます。

- [インタラクティブアンインストール](#)
- [サイレントアンインストール](#)

インタラクティブアンインストール

次の手順を実行します。

1. HP ComputeSensorを削除するには、[コントロール パネル]に移動します。
2. [プログラムと機能]をクリックします。
3. [HP ComputeSensor]を選択して、[アンインストール]をクリックします。
[プログラムと機能] ダイアログボックスが表示されます。
4. [はい]をクリックして、HP ComputeSensorの削除を確認します。
HP ComputeSensorがノードから削除されます。

サイレントアンインストール

次の手順を実行します。

1. 管理者権限でノードにログオンします。
2. Windowsコマンドプロンプトを開きます。
3. 次のコマンドを実行します。
`msiexec /x <msiファイル名とその正確な場所> /qn`
このコマンドで、ノードからHP ComputeSensorが削除されます。

LinuxノードまたはLinux-DebianノードからのHP ComputeSensorの削除

LinuxノードまたはLinux-DebianノードからHP ComputeSensorを削除するには、次の手順を実行します。

1. rootユーザーとしてログオンします。
2. 次のコマンドを実行します。

Linuxノードの場合：

```
rpm -e hpcomputesensor
```

Linux-Debianノードの場合：

```
dpkg -P hpcomputesensor
```

このコマンドで、ノードからHP ComputeSensorが削除されます。

HP vPVマシンからのHP ComputeSensorの削除

HP vPVマシンからHP ComputeSensorを削除するには、次の手順を実行します。

1. 管理者権限でノードにログオンします。
2. 次の場所に移動します。/opt/OV/hpcs/bootstrap.
3. 次のコマンドを実行します。

```
./hpcsinstall -remove -node<ノードのIPアドレス>-user<ユーザー名>-pw<パスワード>
```

第6章: HP ComputeSensorのトラブルシューティング

本項では、HP ComputeSensorをトラブルシューティングする方法について説明します。

- **問題:**インストールの完了後、HP ComputeSensorが実行されない。
現象:インストールの完了後、HP ComputeSensorが実行されません。
解決策:次のエラーメッセージを確認します。cannot bind to 381
このエラーメッセージが**hpcs.conf**ファイルにある場合は、代替ポートを設定します。ポート番号を設定するには、「[ポート番号の設定](#)」を参照してください。

- **問題:** HP ComputeSensorを起動できない。
現象:インストールの完了後、HP ComputeSensorを起動できません。
解決策:次の手順を実行します。
 - a. 管理者権限でノードにログオンします。
 - b. 次のディレクトリに移動します。
 - Windowsノードの場合: %HPCSInstallDir%
 - LinuxまたはLinux Debianノードの場合: /opt/OV/hpcs
 - c. **hpcs.conf**ファイルを開き、[hpcs.trace]セクションで次の変数を設定します。
Debug_Level=DEBUG
 - d. HP ComputeSensorを再起動して、**hpcstrace.log**ファイルでメッセージを確認します。

- **問題:**同一のvCenterが複数のHP vPVマシンに追加されている場合、VMゲストOSドリルダウンメニューがすべてのvPVマシンで有効にならない。
現象:1つの環境で、複数のVMで設定されているHP ComputeSensorを含むvCenter (VC1) にHP vPV (vPV1) が追加されています。同一の環境内にもう1つのHP vPVマシン (vPV2) を追加すると、vPV2で実行されているHP ComputeSensorにVMを登録できません。VMを右クリックすると、**[リアルタイムゲストOSドリルダウン]**ではなく、**[リアルタイムゲストOSドリルダウンの試行]**というメニューオプションが表示されます。
解決策:次の手順を実行します。
 - a. rootユーザーとして新しく追加されたHP vPVマシン (vPV2) にログオンします。
 - b. 次の場所に移動します。/opt/OV/hpcs/bootstrap
 - c. 次のコマンドを実行します。

```
./hpcsinstall -updateConf -node <ノードのIPアドレス> -user <ユーザー名> -pw <パスワード>
```

注 :vPVマシンでupdateConfを実行する前に、/opt/OV/hpcs/packages/にあるhpcs.iniファイルでvPVマシンの正しいIPアドレスが指定されていることを確認してください。

- **問題** :HP ComputeSensorをインストールできない。

現象:HP vPVマシンにHP ComputeSensorパッケージをインストールすると、次のエラーが表示されます。

```
file /opt/OV/hpcs/README.txt from install of HPComputeSensor-1.00.004-1.x86_64 conflicts with file from package HPCS_Sink-2.00.003-1.x86_64
```

```
file /opt/OV/hpcs/hpcomputesensor from install of HPComputeSensor-1.00.004-1.x86_64 conflicts with file from package HPCS_Sink-2.00.003-1.x86_64
```

```
file /opt/OV/hpcs/hpcs.conf from install of HPComputeSensor-1.00.004-1.x86_64 conflicts with file from package HPCS_Sink-2.00.003-1.x86_64
```

解決策 :HP vPVマシンですでにHP ComputeSensorパッケージを使用できるようになっています。HP ComputeSensorを再インストールする必要はありません。

- **問題**:HP ComputeSensorでシステムのIPアドレスを認識できない。

現象:HP ComputeSensorがIPアドレスが設定されていないマシンにインストールされています。HP ComputeSensorのインストール後にIPアドレスを設定すると、その変更は更新されません。

解決策 :IPアドレスを更新するには、次の手順を実行します。

a. 管理者権限でノードにログオンします。

b. 次のコマンドを実行します。

```
hpcomputesensor -genUUID
```

c. **(任意)** ターゲットでhbphandlerを設定します。詳細については、「[ハートビートポーリングの設定](#)」(18ページ)を参照してください。

d. HP ComputeSensorを再起動します。

ドキュメントに関するフィードバックの送信

本ドキュメントについてのご意見、ご感想については、電子メールで[ドキュメント制作チームまでご連絡](#)ください。このシステムで電子メールクライアントが設定されていれば、このリンクをクリックすることで、以下の情報が件名に記入された電子メールウィンドウが開きます。

Feedback on ユーザーガイド (ComputeSensor 2.20)

本文にご意見、ご感想を記入の上、[送信] をクリックしてください。

電子メールクライアントが利用できない場合は、上記の情報をコピーしてWebメールクライアントの新規メッセージに貼り付け、docfeedback@hp.com宛にお送りください。

お客様のフィードバックをお待ちしております。